

令和元年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
市 民	1	基準稼働率の達成		ホール稼働率 70.0%以上	59.1%	C	年間利用者数・ホール稼働率について、2月までは良好であり、達成できる見通しがたっていたが、新型コロナウイルスの影響で3月の利用が激減し、最終的に指標達成には至らなかった。 次年度も新型コロナウイルスの影響で利用者数や利用件数の見通しが立たない不透明な状況だが、目標を達成するよう努力したい。 満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。
	2	基準利用者数の達成		年間利用者数 78,700人以上	68,106人	C	
	3	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査	満足度 90%以上	99.8%	A	
	4	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特徴や使い方を記載した利用の手引きを作成し、安全に利用してもらうためのマニュアルとして用いている ・担当職員が舞台装置の操作助言を実施している ・利用報告書による満足度調査とアンケートの実施・インタビューの実施 ・意見箱の設置を実施して意見・ニーズの把握に努めている 	B	
	5	ホスピタリティに関する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて市民に必要な情報を随時更新している ・事業実施の際は市報掲載やチラシ・ポスターを作成して広報を実施している ・苦情・要望は回答が必要な場合、2週間以内に回答している 	A	
財 務	1	施設利用者一人当たり運営経費	指定管理料決算額（※） ÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く	年 間 540円以下	828円	C	年間1人当たりのコストは、新型コロナウイルスの影響で年間利用者数が減少したため、評価指標値を達成できなかった。 使用料収入は1月の時点で目標を達成することができたが、2月・3月は新型コロナウイルスの影響で激減している。
	2	施設使用料収入の増加	施設使用料収入	年 間 13,200千円以上	18,014千円	A	
業 務	1	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画に基づく市の保全計画に伴い、R2年度から開始される老朽度調査準備のための協力を実施 ・消防・防災訓練実施（2回：6/10、11/11） AED訓練実施（11/11） ・緊急時の連絡体制・マニュアルを整備している 	A	施設の管理については、法令に基づき保守点検・衛生管理を実施、危機管理の観点より防火・防災・AED訓練を行っている。 令和元年度は市の計画による外壁・冷温水発生機・エレベーター工事が実施されたが、改修や更新が必要な施設・備品は他にも多数存在する。 R2年度より老朽度調査が実施される予定だが、対象範囲は未定であり、毎年要求をする中で未だ至っていない改修や設備更新等についても、現場の要望を取り入れて範囲に加えてもらうよう働きかけ、並行して要求も続けていきたい。 その他の業務については、いずれも適切に遂行された。
	2	日常連絡の適切さ	月次報告書の提出	提出期限 翌月10日	毎月10日までに提出	A	
	3	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書の提出	提出期限 翌年度4月30日	4月30日までに提出	A	
	4	運営方針・事業目標	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である ・施設の運営方針をホームページで公開している ・施設の運営方針に基づき事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立てている 	A	
	5	運営方針を実現するための経営戦略の有無	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で事業を検証・検討する会議を定期的実施している ・市と検証に基づく会議を実施している ・会議を受けて、運営方針に基づきながら業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	B	
	6	関係法令の順守	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施（3/30、31） ・守秘義務違反なし 	A	

令和元年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の活用	右記の取り組みをしているか	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	<ul style="list-style-type: none"> 公文協研修・地域創造ステージラボ他公立文化施設運営に関わる研修受講者 在籍 建築物環境衛生管理技術者 在籍 	A	会館運営に必要な業務に係る研修の受講や事業実施を行い、スキルアップに繋げている。 R2年度は新型コロナウイルスの影響で各種研修会も開催中止が相次いでいるが、開催が再開された折には、特に新規採用職員についてホール職員研修を積極的に受講する機会を設けたい。
	2	職員の育成	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 内部、外部研修の受講 スキルアップにつながる自主企画事業の実施 研修成果の館内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 全国公文協研究大会 参加 公共文化施設向けホール改修セミナー 参加 県消防設備協会防災管理講習 参加 建築物環境衛生研修会 参加 財団職員研修会 市民参加型企画の実施 	A	
	3	労働基準の充足	右記のとおり	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	A	

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標＋5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標－5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成＋αの取り組み有り
- D：同左

総 合 評 価 （ 所 見 ）

ホールの稼働率・利用者数は、2月までは目標値を超える見通しだったが、新型コロナウイルスの影響で3月の利用が殆どなくなり、目標値を下回った。2020年度についても引き続き新型コロナウイルス流行の終わりは予測できない状況で、また高齢化等により定期利用団体が漸減している影響下にあり、目標の達成は厳しいことが予想されるが、可能な限り目標到達への努力を行いたい。

使用料歳入については工事休館があった中でも目標値を上回ったが、やはり新型コロナウイルスの影響で2月以降は減少した。

新型コロナウイルスにより、国や自治体、全国公立文化施設協議会の方針によりソーシャル・ディスタンスの確保や合唱などの利用制限など、通常の運用が適わない状況に追い込まれていて、今後もこの状況が暫く続くことが予想される。必然的に稼働や利用者数・使用料への影響が大きくなることも予想され、厳しい状態が続くと思われる。

毎年施設・設備の改修の要求を出している中で、令和元年度は市による外壁・冷温水発生機・エレベーター工事が行われ、2020年度から新潟市による老朽化調査の計画が実施される。しかし現状において速やかな改修が必要な箇所・設備が未だ多数あり、引き続き日常的に施設の点検を行うとともに、老朽化している施設の改修及び設備修繕・更新については調査と並行して市に要求していきたい。

全体としては、指標は概ね良好に高い水準で達成し、業務を遂行できたと考える。

令和2年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
市 民	1	基準稼働率の達成		ホール稼働率 70.0%以上	50.7%	C	年間利用者数・ホール稼働率について新型コロナウイルスの影響で利用中止・取消や延期などにより大きく減少し、指標達成には至らなかった。 満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。
	2	基準利用者数の達成		年間利用者数 168,000人以上	57,694人	C	
	3	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査	満足度 90%以上	99.9%	A	
	4	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特徴や使い方を記載した利用の手引きを作成し、安全に利用してもらうためのマニュアルとして用いている ・担当職員が舞台装置の操作助言を実施している ・利用報告書による満足度調査とアンケートの実施、意見箱の設置、利用者からの意見・要望の随時聞き取りを実施して意見・ニーズの把握に努めている 	A	
	5	ホスピタリティに関する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて市民に必要な情報を随時更新している ・事業実施の際は市報掲載やチラシ・ポスターを作成して広報を実施している ・苦情・要望は回答が必要な場合、2週間以内に回答している 	A	
財 務	1	施設利用者一人当たり運営経費	指定管理料決算額（※）÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く	年 間 540円以下	1,209円	C	年間1人当たりのコストは、新型コロナウイルスの影響で年間利用者数が大きく減少したため、評価指標値を達成できなかった。 使用料収入も新型コロナウイルスの影響により申請・利用件数が減少し、目標値を達成できなかった。
	2	施設使用料収入の増加	施設使用料収入	年 間 28,000千円以上	15,211千円	C	
業 務	1	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画に基づく市の保全計画に伴い、老朽度調査及び改修計画への協力を実施 ・消防・防災訓練実施（2回/6/8、11/9） AED訓練実施（11/9） ・緊急時の連絡体制・マニュアルを整備している 	A	施設の管理については、法令に基づき保守点検・衛生管理を実施、危機管理の観点より防火・防災・AED訓練を行っている。 老朽度調査が実施され、今後改修計画が作成されていくが、市の施設配置計画等により改修時期が未定となっている。 調査結果を踏まえて更新対象となった項目については、施設利用に際し至急の対応が必要になるものもあり、必要が生じた際には都度の修繕・更新を求めたい。 職員会議を月例で開催しており、会館運営に関する課題や問題について議論を行い、改善に努めている。 その他の業務については、いずれも適切に遂行された。
	2	日常連絡の適切さ	月次報告書の提出	提出期限 翌月10日	毎月10日までに提出	B	
	3	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書の提出	提出期限 翌年度4月30日	4月30日までに提出	B	
	4	運営方針・事業目標	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である ・施設の運営方針をホームページで公開している ・施設の運営方針に基づき事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている 	B	
	5	運営方針を実現するための経営戦略の有無	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で事業を検証・検討する会議を定期的に実施している ・市と検証に基づく会議を実施している ・会議を受けて、運営方針に基づきながら業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	A	
	6	関係法令の順守	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	B	

令和2年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の活用	右記の取り組みをしているか	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	<ul style="list-style-type: none"> ・公文協研修・地域創造ステージラボ他公立文化施設運営に関わる研修受講者在籍 ・建築物環境衛生管理技術者 在籍 ・一級建築士 在籍 ・第3種電気主任技術者・第1種電気工事士・第1級陸上特殊無線技士 在籍 	A	会館運営に必要な業務に係る研修の受講や事業実施を行い、スキルアップに繋げている。 R2年度は新型コロナウイルスの影響で各種研修会も開催中止が相次ぎ、今後も特に他県開催の場合は参加が難しいことが予想されるが、状況が整えば特に昨年度採用職員についてホール職員研修を積極的に受講する機会を設けたい。
	2	職員の育成	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部研修の受講 ・スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・研修成果の館内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県公文協研究大会 参加 ・普通救命講習 参加 → AED訓練にフィードバック ・財団職員研修会 ・市民参加型企画の実施 	A	
	3	労働基準の充足	右記のとおり	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	A	

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標＋5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標－5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成＋αの取り組み有り
- D：同左

総 合 評 価 （ 所 見 ）

新型コロナウイルスの影響により、利用率及び利用人数、使用料収入の目標値を下回った。緊急事態宣言による臨時休館、感染リスクが大きいジャンルの利用制限、定員制限などにより、利用団体の活動停止や利用の自粛が続いている。

3年度についても引き続き新型コロナウイルス流行の終息は予測できない状況で、目標の達成は厳しいことが予想されるが、可能な限り目標到達への努力を行いたい。

新潟市による老朽度調査が実施され、改修計画の作成が開始するが、改修時期等が不透明な状況である中で、引き続き日常的に施設の点検を行うとともに、必要が生じた改修及び設備修繕・更新については計画と並行して市に求めたい。

全体としては、指標は概ね良好な水準で達成し、業務を遂行できたと考える。

令和3年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
市 民	1	基準稼働率の達成		ホール稼働率 70.0%以上	62.8%	C	<p>年間利用者数・ホール稼働率について 昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で 利用中止・取消や変更などにより減少し、指標 達成には至らなかった。 利用件数は徐々に回復傾向にあるものの、利 用者数については、利用団体が参加人数を抑制 していることなどから指標との差が大きくなっ た。練習室の利用が主となる当館では、指標達 成に至るまで回復するには、今後も相応の時間 を要するのではと思われる。 満足度調査は目標値をクリアしており、会館 のサービスやホスピタリティも良好な状況で あった。</p>
	2	基準利用者数の達成		年間利用者数 168,000人以上	69,049人	C	
	3	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査	満足度 90%以上	99.9%	A	
	4	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見や ニーズを聴取する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニ ユアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組 み合わせた利用者の意見聴取の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特徴や使い方を記載した利 用の手引きを作成し、安全に利用し てもらうためのマニュアルとして用 いている ・担当職員が舞台装置の操作助言を 実施している ・利用報告書による満足度調査とア ンケートの実施、意見箱の設置、利 用者からの意見・要望の随時聞き取 りを実施して意見・ニーズの把握に 努めている 	A	
	5	ホスピタリティに関する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要 な場合、2週間以内に連絡を入れているか （回答が遅れる旨の連絡でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて市民に必要な情 報を随時更新している ・事業実施の際は市報掲載やチラ シ・ポスターを作成して広報を実施 している ・苦情・要望は回答が必要な場合、 2週間以内に回答している 	A	
財 務	1	施設利用者一人当たり運営経費	指定管理料決算額（※）÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く	年 間 540円以下	1,077円	C	<p>年間1人当たりの運営経費は、新型コロナウイ ルスの影響で年間利用者数が大きく減少したた め、評価指標値を達成できなかった。 使用料収入も昨年に続きコロナの影響により 申請・利用件数の減少や取消が数多く発生し、 評価指標値を達成できなかった。*コロナ事由 キャンセルの実額は5,731千円（これには通常 追加される付帯設備使用料は含まれない）</p>
	2	施設使用料収入の増加	施設使用料収入	年 間 28,000千円以上	23,672千円	C	
業 務	1	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画（H30年4月改定） に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画に基づく市の 保全計画に伴い、老朽度調査及び 改修計画への協力を実施 ・市経済対策施設小規模修繕工事の 実施（補正予算案はR3年度に可決） ・消防・防災訓練実施（2回：6/14、 10/25）AED訓練実施（10/25） ・緊急時の連絡体制・マニュアルを 整備している 	A	<p>施設の管理については、法令に基づき保守点 検・衛生管理を実施、危機管理の観点より防 火・防災・AED訓練を行っている。 大規模改修についてはR2年度に老朽度調査が 実施されたが、スケジュールや予算などは市内 部にて調整中である。 調査結果を踏まえて更新対象となった項目に ついては、施設利用に際し至急の対応が必要に なるものもあり、必要が生じた際には都度の修 繕・更新を求めたい。 職員会議を月例で開催しており、会館運営に 関する課題や問題について議論を行い、改善に 努めている。 その他の業務については、いずれも適切に遂 行された。</p>
	2	日常連絡の適切さ	月次報告書の提出	提出期限 翌月10日	毎月10日までに提出	B	
	3	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書の提出	提出期限 翌年度4月30日	4月30日までに提出	B	
	4	運営方針・事業目標	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方 針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開 している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己 評価を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化政策の一環として位置付けた 独自の運営方針があり、達成目標が 明確である ・施設の運営方針をホームページで 公開している ・施設の運営方針に基づき事業ごと の評価、運営・経営面からの評価を 行い、事業企画や運営の改善に役立 てている 	B	
	5	運営方針を実現するための経営戦略の有無	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で定期的に各事業を検証する会議を 実施している ・所有者である市と各事業の検証結果につ いて会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、 経営の効率化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で事業を検証・検討する会議 を定期的実施している ・市と検証に基づく会議を実施して いる ・会議を受けて、運営方針に基づき ながら業務改善、経営の効率化に取 り組んでいる 	A	
	6	関係法令の順守	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修、コンプライア ンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	B	

令和3年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の活用	右記の取り組みをしているか	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	<ul style="list-style-type: none"> ・公文協研修・地域創造ステージラボ他公立文化施設運営に関わる研修受講者 在籍 ・一級建築士 在籍 ・第3種電気主任技術者・第1種電気工事士・第1級陸上特殊無線技士 在籍 	A	会館運営に必要な業務、特に施設管理に係る研修の受講や、市民参加型事業実施を行い、スキルアップに繋げている。 市民参加型事業についてはオンライン形式を導入し、コロナ禍での新しいスタイルの事業を実施した。 新型コロナウイルスの影響で参加が難しい状況だが、状況が整えば公立文化施設運営に関わる外部の研修に出向くことなど、積極的に受講する機会を設けたい。
	2	職員の育成	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部研修の受講 ・スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・研修成果の館内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲種防火管理新規講習 受講 ・特定建築物調査員講習 受講 ・建築物環境衛生管理研修会 参加 ・財団職員研修会 ・市民参加型企画の実施 	A	
	3	労働基準の充足	右記のとおり	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	A	

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標＋5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標－5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成＋αの取り組み有り
- D：同左

総 合 評 価 （ 所 見 ）

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、利用率及び利用人数、使用料収入の目標値を下回った。県の特別警報による臨時休館、感染リスクが大きいジャンルの利用制限、定員制限などにより、利用団体の活動停止や利用の自粛・取消が続いている。

新型コロナウイルスは変種を繰り返しており現時点では収束が見通せず、4年度も数値目標の達成は厳しいことが予想されるが、可能な限り目標到達への努力を行いたい。

新潟市による老朽度調査が実施され、大規模改修について市内部での各種調整や計画の具体的な検討が始まったが、引き続き日常的に施設の点検を行うとともに、施設利用に際し必要が生じた改修及び設備修繕・更新については、計画と並行して都度市に求めたい。

また、コロナ禍における新しい事業のスタイルとして、オンライン形式による市民参加事業を実施し、好評を得た。

全体としては、指標は概ね良好な水準で達成し、業務を遂行できたと考える。

令和4年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
市 民	1	基準稼働率の達成		ホール稼働率 70.0%以上	76.5%	A	年間利用者数・ホール稼働率について 昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響による利用中止・取消はありながらも、利用件数に回復の傾向もあり、ホール稼働率は指標達成できた。 ただ、利用者数については、利用団体が参加人数を抑制していることなどから、指標の達成には至らなかった。 満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。
	2	基準利用者数の達成		年間利用者数 168,000人以上	109,802人	C	
	3	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査	満足度 90%以上	99.9%	A	
	4	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 ・舞台装置の操作助言の実施 ・意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特徴や使い方を記載した利用の手引きを作成し、安全に利用してもらうためのマニュアルとして用いている ・担当職員が舞台装置の操作助言を実施している ・利用報告書による満足度調査とアンケートの実施、意見箱の設置、利用者からの意見・要望の随時聞き取りを実施して意見・ニーズの把握に努めている 	A	
	5	ホスピタリティに関する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に届く広報の実施 ・苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページにて市民に必要な情報を随時更新している ・事業実施の際は市報掲載やチラシ・ポスターを作成して広報を実施している ・苦情・要望は回答が必要な場合、2週間以内に回答している 	A	
財 務	1	施設利用者一人当たり運営経費	指定管理料決算額（※）÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く	年 間 540円以下	688円	C	年間1人当たりの運営経費は、新型コロナウイルスの影響で利用団体が参加人数を抑制していることなどから、評価指標値を達成できなかった。 使用料収入も昨年に続きコロナの影響による利用の中止・取消・利用控えなどもあり、評価指標値を達成できなかった。
	2	施設使用料収入の増加	施設使用料収入	年 間 28,000千円以上	25,787千円	C	
業 務	1	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 ・消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 ・緊急時の連絡体制、マニュアル整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・市公共建築物保全計画に基づく市の保全計画に伴い、老朽度調査及び改修計画への協力を実施 ・消防・防災訓練実施(2回:6/13、10/24) AED訓練実施(10/24) ・緊急時の連絡体制・マニュアルを整備している 	A	施設の管理については、法令に基づき保守点検・衛生管理を実施、危機管理の観点より防火・防災・AED訓練を行っている。 大規模改修についてはR2年度に老朽度調査が実施されたが、スケジュールや予算などは市内部にて調整中である。 調査結果を踏まえて更新対象となった項目については、施設利用に際し至急の対応が必要になるものもあり、必要が生じた際には都度の修繕・更新を求めたい。 職員会議を月例で開催しており、会館運営に関する課題や問題について議論を行い、改善に努めている。 その他の業務については、いずれも適切に遂行された。
	2	日常連絡の適切さ	月次報告書の提出	提出期限 翌月10日	毎月10日までに提出	B	
	3	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書の提出	提出期限 翌年度4月30日	4月30日までに提出	B	
	4	運営方針・事業目標	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある ・運営方針をホームページ等で市民に公開している ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である ・施設の運営方針をホームページで公開している ・施設の運営方針に基づき事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている 	B	
	5	運営方針を実現するための経営戦略の有無	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している ・所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている ・内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部で事業を検証・検討する会議を定期的に実施している ・市と検証に基づく会議を実施している ・会議を受けて、運営方針に基づきながら業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	A	
	6	関係法令の順守	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施 ・守秘義務違反なし 	B	

令和4年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の活用	右記の取り組みをしているか	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	<ul style="list-style-type: none"> 公文協研修・地域創造ステージラポ他公立文化施設運営に関わる研修受講者 在籍 一級建築士 在籍 	A	会館運営に必要な業務、特に施設管理に係る研修の受講や、市民参加型事業実施を行い、スキルアップに繋げている。 市民参加型事業についてはオンライン形式を導入し、コロナ禍での新しいスタイルの事業を実施した。また、文化団体への参加希望者へデモンストラーションなどを披露してマッチングをはかる「音楽なかま見本市」を実施し、文化団体の参加者増加に寄与する事業を試行した。 新型コロナウイルスの影響で研修参加が難しい状況が続くが、オンラインを活用するなど、積極的に受講する機会を設けていく。
	2	職員の育成	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 内部、外部研修の受講 スキルアップにつながる自主企画事業の実施 研修成果の館内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> 全国公文協および関東甲信越静ブロック公文協 劇場音楽堂等アートマネジメント研修会 全国公文協配信講座「インボイス制度と電帳法」 耐震天井WEBセミナー 建築物環境衛生管理研修会 ホール改修オンラインセミナー（以上、オンライン受講） 新潟県公文協アート・デザイン講座 財団職員研修会 市民参加型企画の実施 「おんぶんリレーコンサート2022サマー」「気軽に音ステージ+音楽なかま見本市」「おんぶんリレーコンサート オンライン 2023」 	A	
	3	労働基準の充足	右記のとおり	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	A	

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標+5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標-5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成+αの取り組み有り
- D：同左

総 合 評 価 （ 所 見 ）

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響下にありながらも、ホール稼働率は目標値を達成することができた。ただ、利用人数、使用料収入は目標値の達成には至らなかったことから、引き続き目標達成への努力を行いたい。

新潟市による老朽度調査が実施され、大規模改修について各種調整や計画の具体的な検討が始まったが、引き続き日常的に施設の点検を行うとともに、施設利用に際し必要が生じた改修及び設備修繕・更新については、計画と並行して都度市に求めたい。
 また、コロナ禍における新しい事業のスタイルとして、オンライン形式の事業に加え、団体と市民をつなぐ市民参加事業を実施し好評を得た。全体としては、指標は概ね良好な水準で達成し、業務を遂行できたと考える。

令和5年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
市 民	1	基準稼働率の達成		ホール稼働率 70.0%以上	72.9%	A	ホール稼働率は指標達成できたが、利用者数については、定期利用団体の減少や、1件あたりの利用者数が減ってきていることなどから、基準利用者数の達成には至らなかった。 満足度調査は目標値をクリアしており、会館のサービスやホスピタリティも良好な状況であった。
	2	基準利用者数の達成		年間利用者数 168,000人以上	112,486人	C	
	3	貸館利用者（主催者）満足度	貸館利用者の満足度調査	満足度 90%以上	99.4%	A	
	4	貸館利用者に対するサービスの提供及び意見やニーズを聴取する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全に配慮した貸館対応マニュアルの整備 舞台装置の操作助言の実施 意見箱、アンケート、インタビューを組み合わせた利用者の意見聴取の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の特徴や使い方を記載した利用の手引きを作成し、安全に利用してもらうためのマニュアルとして用いている 担当職員が舞台装置の操作助言を実施している 利用報告書による満足度調査とアンケートの実施、意見箱の設置、利用者からの意見・要望の随時聞き取りを実施して意見・ニーズの把握に努めている 	A	
	5	ホスピタリティに関する取り組み	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 市民に届く広報の実施 苦情、要望に対する対応として回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れているか（回答が遅れる旨の連絡でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページにて市民に必要な情報を随時更新している 事業実施の際は市報掲載やチラシ・ポスターを作成して広報を実施している 苦情・要望は回答が必要な場合、2週間以内に回答している 	A	
財 務	1	施設利用者一人当たり運営経費	指定管理料決算額（※） ÷ 年間利用者数 （※）人件費及び維持補修費を除く	年 間 540円以下	740円	C	年間1人当たりの運営経費は、基準利用者数の指標を達成できなかったことなどから、評価指標値を達成できなかった。 例年、翌年度の利用にかかる収入が大きな割合を占めているが、令和6年度の大規模改修に伴う休館の影響で予約可能期間が大幅に減ったことなどから、評価指標値を達成できなかった。
	2	施設使用料収入の増加	施設使用料収入	年 間 28,000千円以上	18,995千円	C	
業 務	1	長期的な管理施設の保全及び、安全確保体制の確立	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 市公共建築物保全計画（H30年4月改定）に基づく市の保全計画づくりへの協力 消防訓練、防災訓練、AED訓練の実施 緊急時の連絡体制、マニュアル整備 	<ul style="list-style-type: none"> 市公共建築物保全計画に基づく市の保全計画に伴い、老朽度調査及び改修計画への協力を実施 消防・防災訓練実施(2回:6/12、10/30) AED訓練実施(10/30) 緊急時の連絡体制・マニュアルを整備している 	A	R2年度に老朽度調査の結果を踏まえた令和6年度からの大規模改修に向けて、長期的な施設保全の視点に基づき、改修の効果を高めるための協議を新潟市と続けている。 職員会議を月例で開催しており、会館運営に関する課題や問題について議論を行い、改善に努めている。 その他の業務については、いずれも適切に遂行された。
	2	日常連絡の適切さ	月次報告書の提出	提出期限 翌月10日	毎月10日までに提出	B	
	3	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書の提出	提出期限 翌年度4月30日	4月30日までに提出	B	
	4	運営方針・事業目標	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 設置目的、基本的使命を踏まえた運営方針がある 運営方針をホームページ等で市民に公開している 運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針があり、達成目標が明確である 施設の運営方針をホームページで公開している 施設の運営方針に基づき事業ごとの評価、運営・経営面からの評価を行い、事業企画や運営の改善に役立っている 	B	
	5	運営方針を実現するための経営戦略の有無	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 内部で定期的に各事業を検証する会議を実施している 所有者である市と各事業の検証結果について会議を行っている 内部及び市との会議を受けて業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 内部で事業を検証・検討する会議を定期的に実施している 市と検証に基づく会議を実施している 会議を受けて、運営方針に基づきながら業務改善、経営の効率化に取り組んでいる 	A	
	6	関係法令の順守	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修の実施 コンプライアンス研修の実施 守秘義務違反なし 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修、コンプライアンス研修の実施 守秘義務違反なし 	B	

令和5年度 音楽文化会館 指定管理者自己評価（市「公の施設目標管理型評価書」と同項目）

視 点	No	評 価 項 目	評 価 方 法	評 価 指 標	実 績	評 価	コ メ ン ト
人 材	1	専門性の高い人材の活用	右記の取り組みをしているか	館の各業務に必要な専門的知識や技能、経験、資格等を備えた職員を配置すること	<ul style="list-style-type: none"> ・公文協研修・地域創造ステージラボ他公立文化施設運営に関わる研修受講者在籍 ・一級建築士 在籍 	A	会館運営に必要な業務、特に施設管理に係る研修の受講や、市民参加型事業実施を行い、スキルアップに繋げている。
	2	職員の育成	右記の取り組みをしているか	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部研修の受講 ・スキルアップにつながる自主企画事業の実施 ・研修成果の館内へのフィードバック 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国公文協アトマ初級研修 ・財団研修「コンプライアンス」「情報管理」 ・劇場職員セミナー ・ホール改修オンラインセミナー（以上、オンライン受講） ・新潟県公文アトマアデューズ講座 ・財団研修「ハラスメント」 ・新潟市施設保全研修会 ・建築物環境衛生管理研修会 ・市民参加型企画の実施「リレーコンサート2023」「気軽に音ステージ+音楽なかま見本市」「モダンチェンバロ体験講座2023」「リレーコンサート・オンライン☆2024」 	A	市民参加型事業については、23回目となる長寿・人気企画「リレーコンサート」を開催、出演者は応募多数のため抽選を行った。オンライン形式のリレーコンサートも開催し、コロナ禍で開拓した新しいスタイルの事業を継続、足を運ぶのがむずかしい市民にも演奏を届けた。また、文化団体への参加希望者へデモンストレーションなどを披露してマッチングをはかる「音楽なかま見本市」を実施し、文化団体の参加者増加に寄与する事業を継続試行した。さらに、貸出楽器「モダンチェンバロ」の体験講座を初めて開催し、市民の音楽活動機会の拡大をはかった。モダンチェンバロ体験講座は定員を超える申込があり、追加講座も開催し、事業効果のさらなる拡大をはかることができた。 研修については、オンラインを活用するなど積極的に受講する機会を設け、成果の情報共有をすることで館内へフィードバックを進めている。
	3	労働基準の充足	右記のとおり	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	A	

【評価基準（市提示）】

- A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
- B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
- C 要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）

【指定管理者による自己評価時の基準】 ※ 市提示の評価基準を補足・明確化するもの

数値指標の場合

- A：指標+5%超
- B：指標±5%以内
- C：指標-5%超
- D：市と基準を合わせるためカット

数値指標でない場合

- A：複数指標全て達成+αの取り組み有り
- D：同左

総 合 評 価 （ 所 見 ）

貸館状況について、令和4年度に引き続き、令和5年度もホール稼働率は目標値を達成することができたが、令和6年度の大規模改修に伴う休館の影響により使用料収入は目標値の達成には至らず、年間利用人数も目標値の達成には至らなかった。引き続き目標達成への努力を行いたい。

施設管理状況について、大規模改修にむけた準備を進めながら、日常的に施設の点検を行い、施設利用に際し必要が生じた設備修繕に努めている。特に、能登半島地震のあと、施設の損傷に対して適切に対応をおこない、施設利用への影響を最小限に留めることができた。

自主事業について、コロナ禍における新しい事業スタイルとして始めたオンライン形式の事業に加え、団体と市民をつなぐ市民参加事業を実施し、いずれの事業でも好評を得た。さらに、貸出楽器モダンチェンバロの演奏体験講座を開催し、市民の音楽活動の拡大に一定の貢献を果たすことができた。

全体としては、指標は概ね良好な水準で達成し、業務を遂行できたと考える。